

総資本営業利益率

2022年度の総資本営業利益率（全産業・全規模）は3.1%

※製造業（全規模）3.6%、非製造業（全規模）2.9%

（1）財務指標の説明

総資本利益率とは、利益の総資本に対する割合を言い、企業の総合的な収益性を計る尺度です。総資本利益率が高い場合は、投下資本が効率的に使用されており、収益性が高いと言えます。また、この比率は売上高利益率と総資本回転率の2つの構成要素に分解することができます。なお、総資本利益率は総資産利益率とも言われ、一般にROA（Return on Assets）と呼ばれています。

総資本利益率は、分子の利益に何をを用いるかによって、総資本営業利益率、総資本経常利益率などと呼ばれます。総資本営業利益率は、分子の利益に営業利益を用いることによって、投下資本に対して企業の本業から得られている利益の割合を確認することができます。

$$\begin{aligned} \text{総資本営業利益率(\%)} &= \frac{\text{営業利益}}{\text{総資本（期首・期末平均）}^*} \times 100 \\ &= \frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資本（期首・期末平均）}^*} \times 100 \\ &\quad \left(= \text{売上高利益率} \right) \quad \left(= \text{総資本回転率} \right) \end{aligned}$$

〔*総資本＝負債＋特別法上の準備金＋純資産〕

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産	I 流動負債
II 固定資産	II 固定負債
III 繰延資産	
	純資産の部
	I 株主資本
	II 評価・換算差額等
	III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I	売上高
II	売上原価
	売上総利益
III	販管費
	営業利益
IV	営業外損益
	経常利益
V	特別損益
	税引前当期純利益
VI	法人税等
	当期純利益

(2) グラフで見る最近の動き

2022年度は、製造業では営業利益が対前年度比で減少したことから総資本営業利益率は前年度比で低下している一方、非製造業では営業利益の対前年度増加率が総資本の増加率を上回ったことから総資本営業利益率は前年度比で上昇しており、全産業で見た総資本営業利益率は前年度比で上昇しています。

